

2013年3月8日(金) 12:00~

適正技術カフェ@医学学群棟4A411

~東ティモールの満天の星空の下で

僕たちが生まれて初めて考えたこと~

See-D Contest 体験記

皆さん、1年間お疲れさまでした。試験も終わり春休み間近、  
途上国でのフィールドワークと適性技術教育を通じた体験を、  
学生の体験談とTV放送のビデオを通じて紹介します。

軽食とお茶を用意します、冷やかしも大歓迎、お気軽にお立ち寄りください。

## ■適性技術教育とは？

先進国に生きる我々が途上国のためにできること。同情や情けだけではなく、発展のための礎を築くこと。我々が持つ技術を、開発途上国現地のニーズ、文化、環境、人などを考慮したうえで、現地の人に必要とされる最善の技術を創出することを学びます。今世界で最もホットな学問・ビジネステーマの一つです。これからの社会で必要とされる問題解決力、現場対応力、起業力を身につけることを目的としたHBPの選択必修科目です。

担当：入江賢児 (HBP)、梅澤陽明 (HBP&See-D)、陸 翔 (See-D)、遠藤 謙 (See-D)

## ■See-D Contestとは？

世界には、水・医療・農工具など、最低限の生活必需品にアクセスできず、貧困に苦しむ人が大勢います。そういった必需品は、その土地の生活様式・ニーズに合わせて作られた製品がないために「お金があっても買えない」状態にあることもしばしばです。一方、日本には技術力のある企業が大勢ありながらも、地理的・言語的な壁から途上国に住むユーザーのニーズを把握し、製品設計に生かすことが難しいのが現状です。See-D contestは、日本の技術力と途上国のニーズをつなげ、途上国が抱える課題を解決する製品をより多く生み出すことを目的として、立ち上げられました。

詳しくはこちらから → <http://see-d.jp/>

## ■開催情報

2013年3月8日(金)  
12:00~14:00 予定(出入り自由)  
医学学群棟4階4A411  
<http://www.md.tsukuba.ac.jp/gradmed/access/>

## ■参加方法

どなたでも参加頂けます！軽食とお茶が出ますので、  
お気軽に当日会場にお立ち寄り下さい。